



●仕様 LU-100 ●オプション プリンタ VZ-300

測定方式	超音波パルスエコー法式
測定対象板厚	6種(エポキシ、アクリルゴム、ポリマーセメント、鉄、薄いエポキシ、薄いアクリルゴム)
測定対象下地	7種(コンクリート、アクリルゴム、スレート、木材、ガラス、鉄、下地無し)
ペイントの条件	ありなしの選択(アクリルゴム、ポリマーセメント時に有効)
音速測定可能範囲	1,000~9,999m/s (マニュアル変化、及び校正時に自動設定されます)
音速初期設定値	エポキシ、薄いエポキシ 2,500m/s、アクリルゴム、薄いアクリルゴム 1,500m/s、ポリマーセメント 2,400m/s、鉄 5,920m/s
音速設定分解能	1m/s
探触子	ケーブルタイプ付き垂直探触子(2MHz)
探触子ケーブル長	約2m(色:黒)
探触子側コネクタ	マイクロドット
膜厚計側コネクタ	レモ(小)
測定範囲	エポキシ :0.8 ~ 6.3mm アクリルゴム :0.4 ~ 3.4mm ポリマーセメント :1.1 ~ 5.4mm 鉄 :3.9 ~ 12.5mm 薄いエポキシ :0.3 ~ 2.0mm 薄いアクリルゴム :0.2 ~ 1.2mm (音速、及び、温度設定で変化します。上記は、初期音速で、25℃時。)
ゼロ点調整範囲	-1us ~ +1us (校正により自動設定されます)
音速校正厚さ範囲	0.5 ~ 10.0mm
測定精度	±0.5%±0.1mm (鉄によるチェック)
測定可能インパルス	約4回/秒
表示分解能	0.1mm
温度設定範囲	0 ~ 70℃
温度系数設定	膜材ごとに内部ROMに固定値を記憶 エポキシ、薄いエポキシ :0.3%/℃ アクリルゴム、薄いアクリルゴム :0.3%/℃ ポリマーセメント :0.1%/℃ 鉄 :0.01%/℃
温度系数範囲	0 ~ +1%/℃(0.01%きざみ)
表示方法	ELバックライト付きドットマトリクスLCD(120×64ドット)
オーバー・オフ	約6分(キーを押さないか、測定値が表示されない状態を続けた場合)
本体動作温度範囲	0 ~ +50℃、85%以下(但し結露しないこと)
探触子動作温度範囲	0 ~ +50℃(連続使用) 0 ~ +70℃(5秒以下で探触子本体が50℃以上にならないこと)
保存温度範囲	-10 ~ +50℃
外形寸法・重量	102(W)×225(D)×34(H)mm、0.6Kg
電源	ACアダプタまたは、電池1.5V(単3)アルカリ×4本
電池動作時間	約10時間(連続測定画面表示時)
プリンタ出力	専用プリンタVZ-320が必要です。
付属品	キャリングケース、ACアダプタ、カブラント剤、標準板

●この商品へのお問い合わせは下記、またはインターネットのメールボックスへお願いいたします。
URL <http://www.ijnet.or.jp/kett/> E-mail kett-sda@po.ijnet.or.jp

Kett 株式会社ケット科学研究所

東京本社 東京都大田区南馬込1-8-1〒143
TEL(03)3776-1111FAX(03)3772-3001
大阪支店 大阪市東淀川区東中島4-4-10〒533
TEL(06)323-4581FAX(06)323-4585
名古屋営業所 名古屋市西区名駅3-11-22〒451
TEL(052)551-2629FAX(052)561-5677
広島営業所 広島市西区庚午北4-7-17〒733
TEL(082)273-2234FAX(082)273-2236
仙台営業所 仙台市青葉区二日町2-15鹿島ビル7F〒980
TEL(022)215-6806FAX(022)215-6809
札幌営業所 札幌市西区八軒一条西3-1-1〒063
TEL(011)611-9441FAX(011)631-9866

ご用命は

●製品改良のため、仕様や外觀の一部を予告なく変更することがあります。また、製品の色調は印刷のため実物とは異なる場合もありますのであらかじめご了承ください。

9606 M 10K-2

NEW

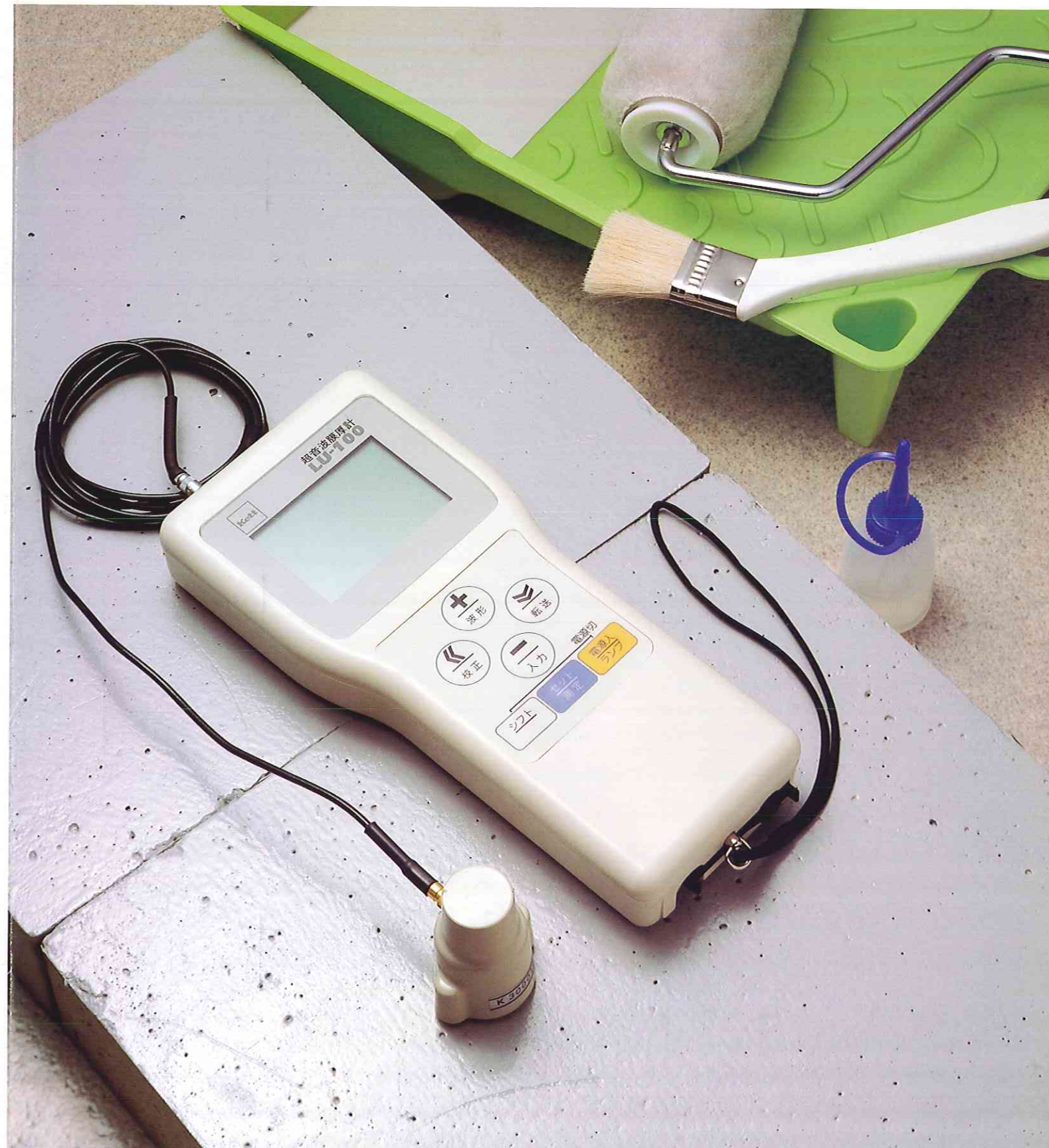
Kett

SCIENCE OF SENSING
測定器のケットです。

LU-100

超音波膜厚計

日本建築仕上学会推奨器



■建築用測定機器シリーズ



■塩分濃度計

AG-100

測定対象:各種水溶液、生コンクリート、細骨材
測定範囲:0.001%~1.5%(Cl⁻溶液濃度)



■コンクリート・モルタル水分計

HI-500

測定対象:コンクリート、モルタル、ALC
測定範囲:0~12%、0~15%、0~100%、



■建研式コンクリート・チェッカー

TN-100

測定対象:コンクリートの内部状況
測定範囲:深さ100mm



■コンクリートひび割れゲージ

CMゲージ

測定対象:コンクリートのクラック挙動
測定範囲:-5~19mm



■フレックスハンマー

TZ-200

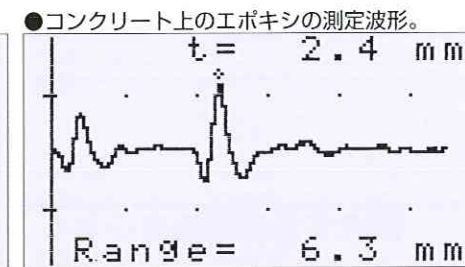
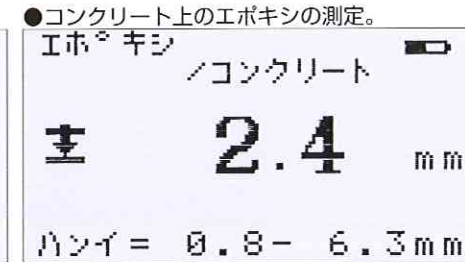
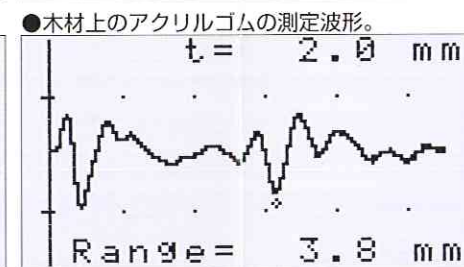
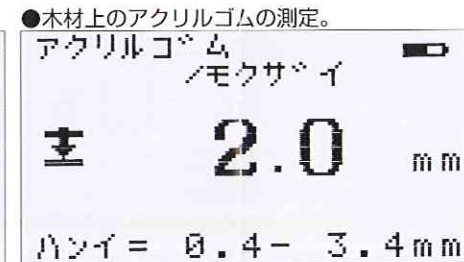
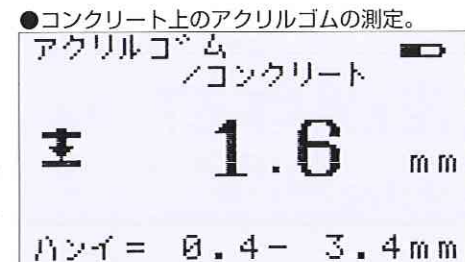
検査対象:コンクリート、タイルの浮き
検査方法:打音

株式会社ケット科学研究所

LU-100

超音波膜厚計 日本建築仕上学会推奨器／日本建築学会発表、日本建築仕上学会発表
(1995年) (1995年)

従来、膜厚計といえば金属上に施された被膜の厚さを測定するものでした。その膜厚計も鋼材などの磁性金属上の重防食塗装は、電磁式膜厚計によって乾燥塗膜の厚さ測定が行われ、またアルミなどの非鉄金属上に塗布された塗膜の測定は、高周波式膜厚計が用いられています。一方、建築塗装においてはコンクリートやモルタル、あるいは木材といった非金属上への塗装が、金属への塗装よりも多いのが特徴と言えます。さらにこれらの塗料には防水性やコンクリートの中性化抑制効果などの、付加機能が添加されています。そして、この機能を十分に発揮させるには、施工時に所定の塗膜厚さを確保し、管理することが重要な条件となります。このような背景から非金属上の塗装の被膜厚測定ができる膜厚計が強く要望されていました。ケツト科学が日本建築仕上学会のご指導のもと、非金属下地に対応する膜厚計として開発したのが本器LU-100型です。本器はコンクリート・モルタルはもちろん、スレート・木材・ガラスなど、ほとんどの非金属下地に対応し、いままでに測定できなかった膜厚測定を可能とする画期的な測定器です。特に、建築・土木分野での施工・補修管理用機器としてご活用ください。



LU-100は超音波パルスの反射を利用した膜厚計です。探触子から超音波パルスを測定対象物に入射し、被膜と下地との境界で反射してくる反射波の時間を計測し、これを厚さとして表示します。

- 建設用に広く使われている素材の測定に適しています。
下地がコンクリート、スレート、木材、鉄、ガラス、モルタルで、被膜がエポキシ、ポリマーセメント、アクリルゴム、鉄などに対応します。
- 膜厚と波形を表示し、プリントアウトすることもできます。
膜厚を数値と波形で表示し、専用のオプション プリンタで記録することができます。
- 材質に適した音速を記憶します。
測定に適した超音波の音速を、記憶させることができます。
- オートパワーオフ機能
6分以上キー操作をしないか、測定値を表示させない状態が続くと、自動的に電源がオフになります。



●探触子を測定位置に密着させます。

測定方法

- 測定位置に超音波の伝達を良好なものとするために、カプラント剤を塗ります。
- 測定物に最適な音速を設定し、探触子を測定位置に押し当てます。

ご注意

- 超音波膜厚計はその測定原理から、測定対象物の内部構造が十分に密でなければなりません。超音波を伝達しない物質や、ホーラスな材料は測定できません。



- 小型・軽量なので建設現場でも気軽に使えます。
片手で持てる大きさと重さですので、建設現場で使ってもじゃまになりません。また、専用キャリングケースが付属していますので、保管・移動も容易です。
- 操作が簡単です。
設定は3つのキーを選択するだけで、校正も簡単にできます。



- 建設用、土木用に使われている各種の材料が測れます。
下地はコンクリート、モルタル、スレート、木材、鉄、ガラスなど、また被膜はエポキシ、ポリマーセメント、アクリルゴム、鉄などに対応します。コンクリートへの一般的な塗装やルーフィングの防水塗装、ガラスに貼付したフィルムの厚さなども測れます。